

多古町五十塚古墳出土の円筒埴輪

齋 木 勝

1. はじめに

紹介する資料は、1965年（昭和40年）9月24日、香取郡多古町谷三倉字五十塚に位置する、五十塚古墳群2号墳から採集された円筒埴輪である。

当時、周辺の遺跡を踏査していた筆者は、利根川下流域の貝塚を定期的に訪れるとともにその移動中に目に留まった遺跡にも足を踏み入れていた。標記の古墳は、その際に円墳の西面が開墾されているのを確認し、遺物が採集されたのである。

この古墳は1992年（平成4年）12月にゴルフ場造成の過程の中で（財）香取郡市文化財センターにより墳丘測量が実施され¹⁾、その場内に保存された。今回、九十九里浜に流下する栗山川の上流部の埴輪資料として分布の状況を埋める資料になればと思ったので、ここに資料紹介するものである。

2. 位置と周辺の遺跡

五十塚古墳群は、第1図に示すように香取郡多古町谷三倉の樹枝状に開折された、東西1.5km、南北1kmの範囲の入り組んだ台地上に広く分布している。

この古墳群は、1986年刊行の「千葉県埋蔵文化財分布地図（2）千葉市・香取・海上・匝瑳・山武地区一」と、1990年刊行の「千葉県所在古墳群詳細分布調査報告書」では、ともに円墳68基、方墳2基が所在するとされているが前方後円墳は確認されていない。



第1図 五十塚古墳群位置図（1：50,000）

今回紹介する円墳は、1978年刊行の「千葉県埋蔵文化財分布地図」では、2号墳とされている。

栗山川の上流部には、両岸に多くの古墳群が分布している。当五十塚古墳群の対岸には、全長82m、後円部の径49m、高さ7mの規模を持つしゃくし塚古墳を主墳とした柏熊古墳群²⁾（前方後円墳1、円墳6）が位置する。また、その南方の多古町南玉造には、内野古墳群（円墳12、方墳4）、同町北中字坂並白貝には坂並白貝古墳群³⁾（前方後円墳2、円墳41、方墳2）、北中字淀台には、淀台古墳群（前方後円墳2、円墳30、方墳1）、が確認され、ともに50mクラスの後期前方後円墳を主墳とするようである。

この2号墳の規模をみると、墳丘の直径は17m、高さは2.6m、墳頂の標高は43.73mの円墳で、第2図の墳丘測量図からみると、墳頂はやや北東に偏在しているようで、墳丘の西側が開墾されたことにより墳土が流れた可能性が強くややなだらかになっている。古墳は香取郡市文化財センターによる測量調査実施前に既に墳丘上の樹木は伐採され、墳丘自体が整形されていたという。なお、北東に位置する送電線の鉄塔により地盤等削平された可能性が高い。

3. 円筒埴輪資料

第1類（第3図1～5）

口縁部を一括とした。全体的に施文手法から見ると丁寧な作りである。1は外面を横位のハケナデを施したのち端部を方形に整えている。裏面は、7本単位の横位のハケナデを認める。2は口唇部の上面が平に整えられ、両端は肥厚する。裏面もハケナデを認める。3～5は口唇上面を一周するように横ナデ調整をして平坦にし、端部が外側にやや突出する。外面にやや斜めのハケナデ、内面は横位のハケナデを認める。色調は一様に黄褐色であるが2～4はやや赤味を持つ。胎土には微細な雲母片が混入されており光沢を示す。若干砂粒も含むが焼成はよく、固く締まっている。

第2類 (第3図6~12)

透孔の確認できるものを本類とした。6, 10, 11, 12は透孔が円形と思われる。7, 8, 9は円形以外で方形か隅丸方形等の形と思われる。外面調整は縦方向のハケナデで、内面調整は6, 8のような大きな単位の横位のハケナデと7, 9, 10のような短い単位のハケナデに分けられる。11の内面は輪積痕が残る。胎土は一様に雲母が混入されており、6, 8, 10, 11には長石、石英と思われる白色の砂粒を認める。なお、8, 9, 12には、突帯を認める。8は断面が丸みを持ち、9, 12は断面が台形を示す。8, 10, 12は焼成も固く焼き締まった様相であるが、他はやや砂っぽい胎土を示す。

第3類 (第3図13~19)

本類は突帯部を持つ資料で一括とした。断面形状には18を除いて、突帯を指頭などで貼り付けてから、上面を横位に布ナデ等で一気に処理している。したがって、下にやや下がる状況になる。14のように台形状に稜がシャープに残ることもあるが、一般的には稜は形

成されず、丸みを帯びた山形を呈する。18は幅広のしっかりした突帯で、下面も横方向に加工されている。

外面調整は縦方向のハケナデ、内面はやや短い単位の斜め方向のハケナデである。色調はほぼ黄褐色が一般的である。17は内外面ともに淡褐色であるが、断面を見ると内面は灰褐色で固い焼成である。

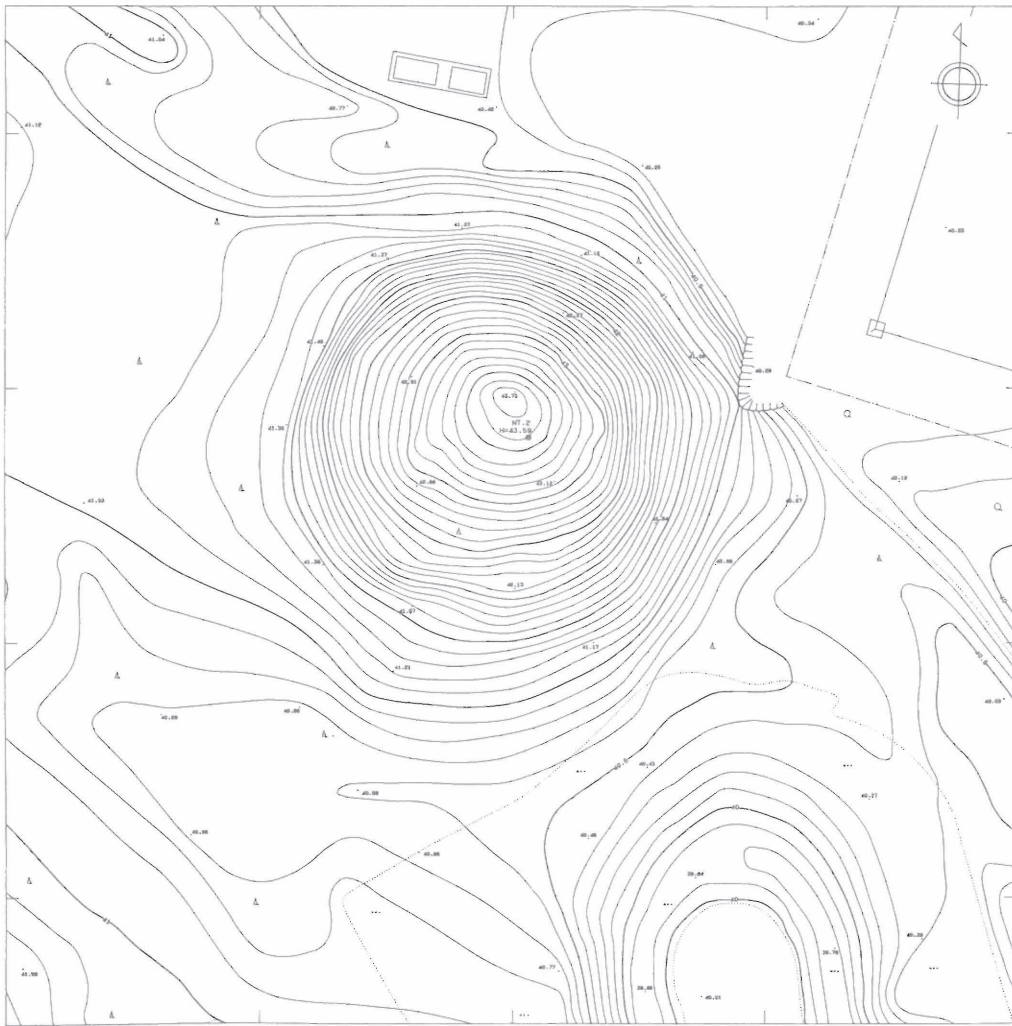
第4類 (第3図20~29)

朝顔型埴輪を本類とした。一様に色調が赤褐色を呈し、焼成も均一で同一個体の可能性が大きい。20を除いて他は突帯部をもつ。断面形は、山形を呈し上端に稜を持つ。器面は縦位のハケナデを認め、裏面は横位のハケナデ (20, 24, 26~29) と指頭による横ナデ (21~23) が確認される。なお、21, 22, 24, 25, 26, 29には透孔跡を認めることから部分的に胴部であると思われる。

第5類 (第3図30~32)

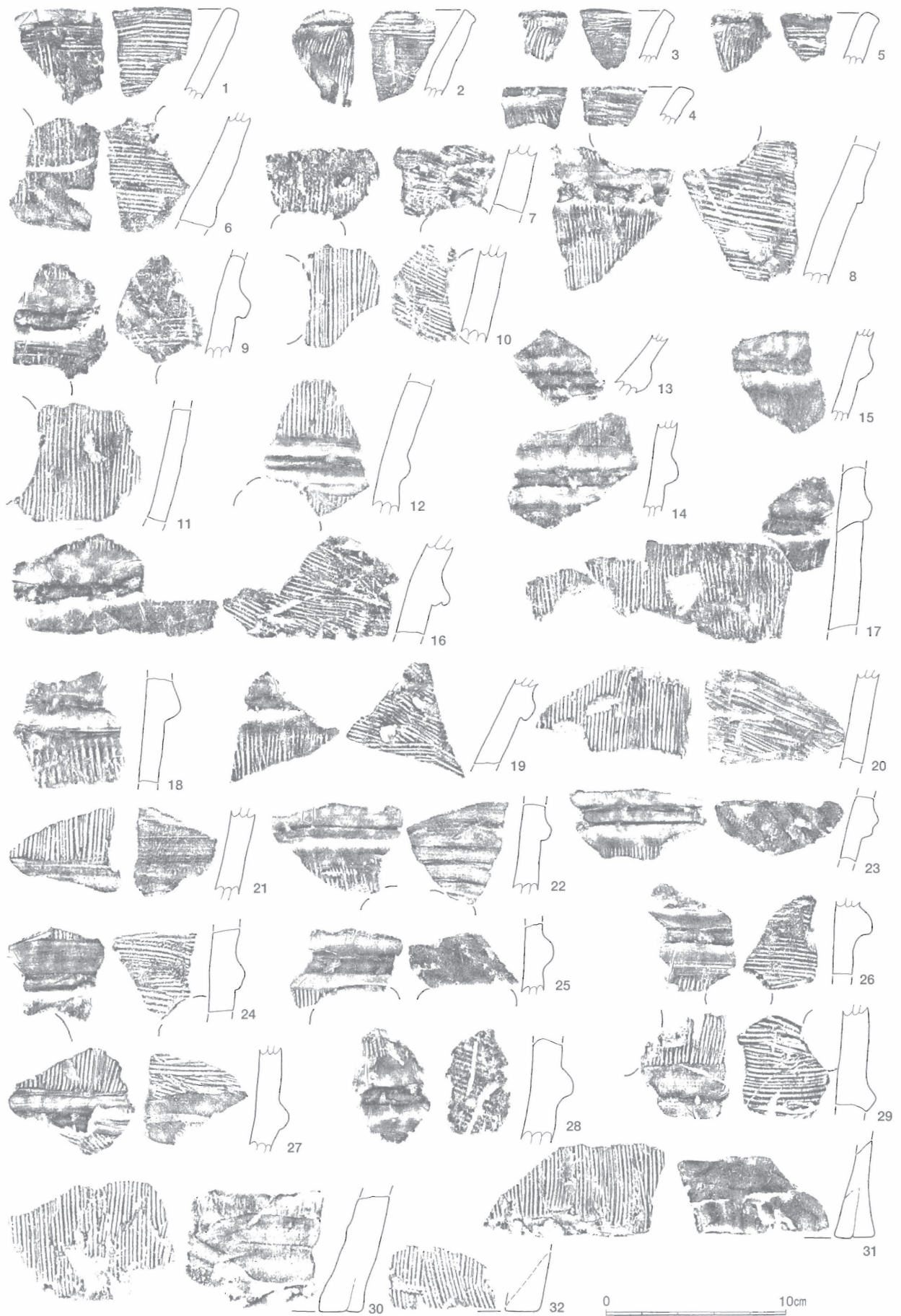
底部を一括した。30は底面の厚さは2.2cmを測る。胎土紐を二重に合わせて成形しており、一本の粘土紐は

厚さ1.3cm、高さ3cmである。器面は幅2cmで8条のハケ目を縦位につけている。裏面は縦方向に成形痕を施してから横位のナデを施している。31はやや小振りの底部片である。底面の厚さは2.1cmで粘土紐を0.8cmの厚さ、高さ2.1cmのものを内側に輪積み状にし、外側に二重に重ねて成形している。器面は幅2cm、8条のハケ目を縦目につけている。裏面は明瞭に輪積痕を残している。胎土は緻密で微細な雲母と長石と思われる白色粒を認める。特徴的にはすでに



2号墳実測図

第2図 墳丘実測図 (鳴田1993より引用) (1:300)



第3図 円筒埴輪拓影図 (1/3)

神野氏⁴⁾が指摘しているように、断面に黒色炭化物を認めることである。その面は接合痕の上面であるいは埴輪製作時に積み上げた粘土紐の上面に何かしらの繊維紐を加えて、成形上の工程に利用したと推測される。32も底部片で内側は胎土接合面を示すことから、輪積み成形のいわゆる1単位と思われる。輪積みの粘土紐を底面の厚さ1.3~1.7cm、高さ約3.5cmの状況で成形していく。胎土接合部の内面は上から下へ移動し、外側は下から上へ押し上げて成形すると思われる。その結果、接合部は斜め方向に立ち上がるようである。

採集された資料の中に形象埴輪と思われる破片も確認されている。断面形が「く」の字形を示すことから頸部と思われる。6×8cmの大ききで器面は平滑に整えられており、背面の頸部を補強のごとく胎土を貼り付けている。内面は白色砂粒が浮出しており、器面は僅かであるが凹凸がある。色調は黄褐色で微細な雲母片が混入されており、焼成は堅固である。

4. 終わりに

資料の形態的、また技法的特徴を概観してみると、口縁部の丁寧な作り、また、透孔には円形もあるが他の形も存在する。そして突帯は断面形が山形や台形で、作りは突帯上面より下部に押出している。胎土に多量の雲母を含むことも大きな特徴である。また、他の破片(約40点)を含めた検討によると、形状は3条4段で口縁部は外反し、突帯間が等間隔のようである。したがって、形態的には、佐原市堀之内遺跡第4号古墳の円筒埴輪棺に利用されている資料に近似するのではないかとと思われる⁵⁾。他に形態は不明であるが、形象埴輪が伴うのは確実である。したがって、時期的には6世紀の前半期に位置付けられ、いわゆる「下総型埴輪」が全盛する直前と考えられる。

輪」が全盛する直前と考えられる。

円筒埴輪の川西編年⁶⁾が発表されてから25年、当センターによる『房総考古学ライブラリー古墳時代(2)』⁷⁾が刊行されて10年が経つ。当資料が該当するV期、6世紀代の埴輪生産様相が心靈写真等に惑わされることなく古墳時代研究者及び埴輪研究者に解明されんことを求めて終わりとした。

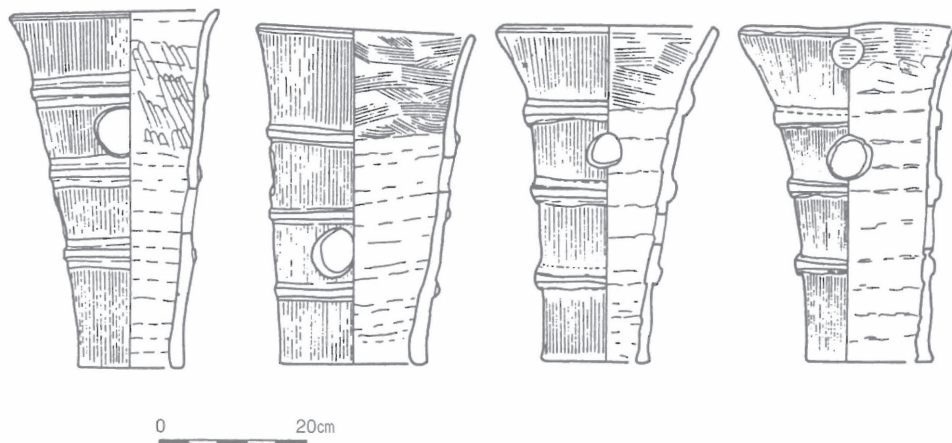
今回、報告に当り、萩原恭一氏には資料の全体的検討を加えていただいた。また、鳴田浩司氏には墳丘測量時の状況をご教示願った。ともに感謝したい。

註

- 1) 鳴田浩司「千葉県香取郡多古町五十塚古墳群」(財)香取郡市文化財センター調査報告書 第16集 1993
- 2) 千葉県教育委員会「千葉県重要古墳群測量調査報告書-山武地区古墳群(3)-」1991
- 3) 村田一夫編『坂並白貝古墳群66号墳・高津原横穴群』多古町教育委員会 1974
村田一夫編『千葉県香取郡多古町坂並白貝古墳群発掘調査報告-坂並白貝20, 21号墳・17, 18号墳-』多古町教育委員会 1978
- 4) 神野 信「公津原埴輪生産遺跡」『千葉県文化財センター研究紀要15 生産遺跡の研究4-埴輪-』1994
- 5) 渋谷興平、渋谷貢『堀之内遺跡』堀之内遺跡発掘調査団1982
- 6) 川西宏幸「円筒埴輪総論」考古学雑誌第64巻第2号 日本考古学会 1978
- 7) 萩原恭一「新しい首長の登場」『房総考古学ライブラリー-6、古墳時代(2)』1992

参考文献

- 萩 悦久「千葉県佐原市森戸大法寺古墳の埴輪」東邦考古18 1994
萩原恭一「千葉県における埴輪の様相と展開」『第6回シンポジウム埴輪の変遷-普遍性と地域性』1985



第4図 〈参考資料〉佐原市堀之内遺跡第4号古墳円筒埴輪(渋谷1982)